

# e-コクピット時代のHMI開発環境

～ HMIの振舞い設計は状態遷移/画面遷移が重要～

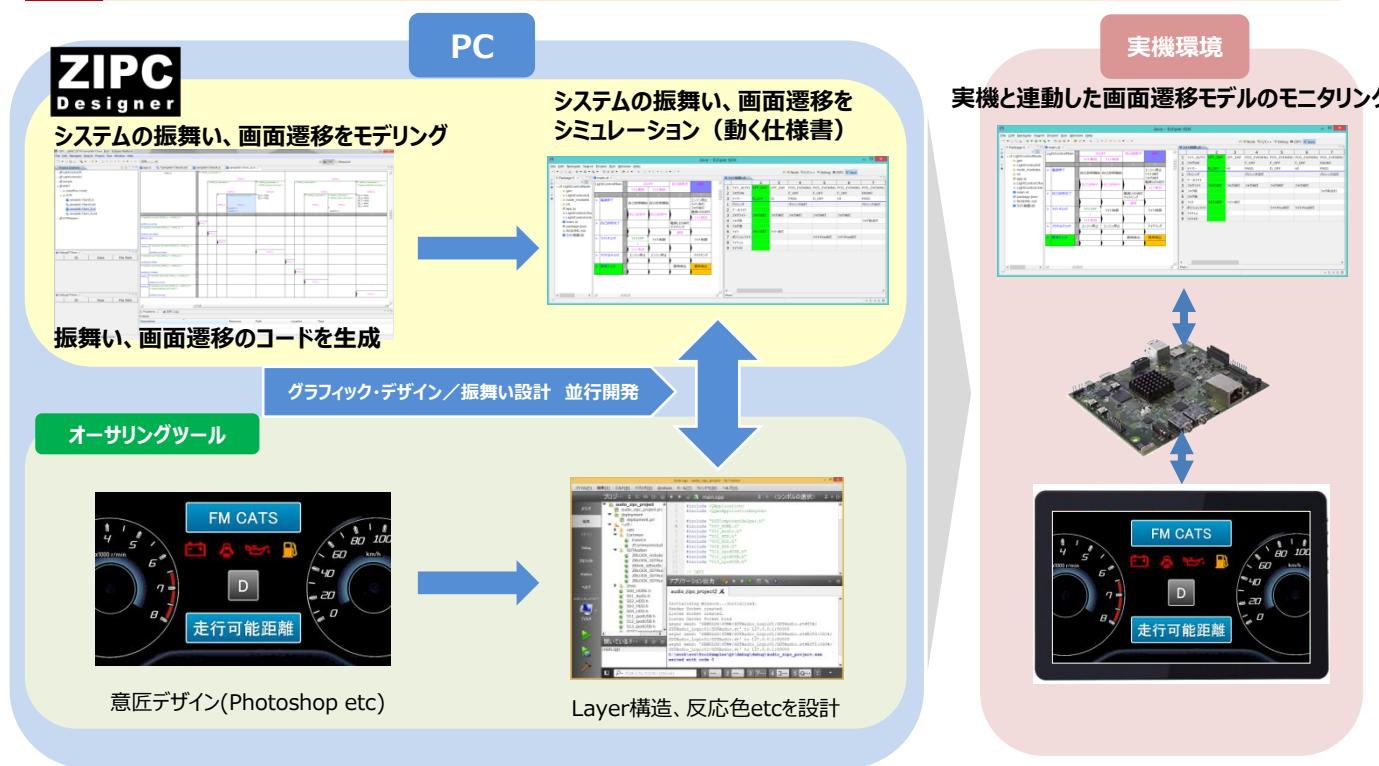
こんな状況はありませんか？

- ・デザイナー作成のグラフィックが制約される。
- ・振舞いの仕様が確定しない。
- ・実装後の手戻りが多く工数、コストが増大する。
- ・より複雑な条件でのグラフィック表示の制御が難しい。

本HMI開発環境で期待される効果

- ・実装開発を並行で進められ、リッチな画面を実現できます。
- ・動く仕様書で明確な振舞いを早期に定義、確定できます。
- ・振舞いのモデルからソースコードを生成し手戻りが減ります。
- ・状態遷移/画面遷移モデル、決定表で複雑な制御も可能です。

グラフィック・デザインと画面遷移設計を並行して開発できる



本環境でのHMI開発の流れ

## 1 並行開発でムダがない

「グラフィック・デザイン」とHMIの「振舞い、画面遷移」のモデル化を並行して実施できる。

## 2 動く仕様書で素早く確認

グラフィック構造と制御モデルのコードをコンパイルし、PCで実装前に「動く仕様書」を動作確認できる。

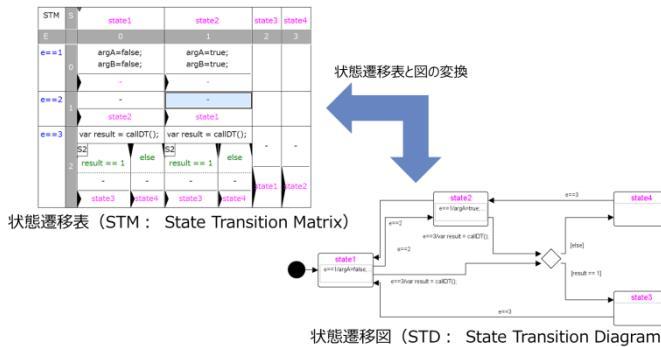
## 3 手戻りがなく生産性向上

動作が正しいと確認されたコードを実装し実機確認するので手戻りが無くなり、生産性が向上する。

# e-コクピット時代のHMI開発環境

HMIの振舞い設計は ZIPC Designer で！

## 特長①： 状態（画面）遷移設計



- あいまいな仕様の定義を明確に表現できます。
- 複雑な振舞いも状態と事象の組合せで網羅します。
- 状態モデルがそのまま設計書として資産化できます。



## 特長②： 決定表



- ISO準拠の決定表エディタです。
- 複雑な条件の組合せを整理、定義できます。

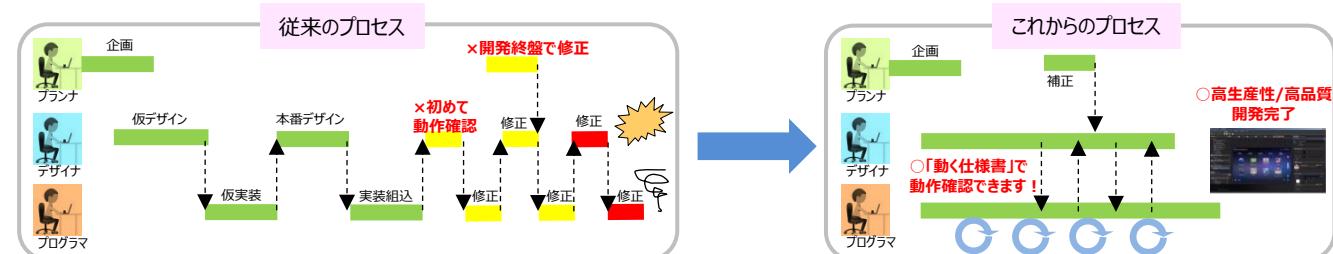


## 特長③： 様々なオーサリングツールとの連携



- 主要なオーサリングツールとの連携ができます。

これらの特長により HMI開発の生産性、品質が飛躍的に向上します



Communication  
Art  
Technology  
Systems

キャッツ株式会社